

いずも

つながる
ひろがる
ささえあう

vol. 152 | 5月・6月号 | 令和6年6月20日発行 |

社会福祉法人
出雲市社会福祉協議会



TOPIC! 〈p2〉特集 明るく楽しい未来を描けるように

〈p4〉いま知ってもらいたい「社協会費」のこと

〈p6〉お知らせ・募集

- ・手話奉仕員養成講座
- ・ボランティア講座
- ・たすけあい活動勉強会
- ・職員採用試験

〈p6〉災害義援金・海外救援金

〈p7〉ご寄附ありがとうございます

〈p8〉お米のフードドライブ

〈p8〉いずりんレポート

- ・稗原いきいきクラブ
- ・能登町災害ボランティアセンターへ職員派遣

〈p8〉知ってますか?コミュニティフリッジ出雲

明るく楽しい未来を 描けるように



出会いを力に

杉原さんと荒木さんが中心となり、6人で活動する「しまねハッピースマイルプロジェクト」。島根県の大学生や高校生が「学校に通いにくい子どもたちが明るく楽しい未来を描けるようにしたい!」という思いで活動しています。

メンバーとの出会いは、市内にある次世代を担う若者の活動拠点「ユース出雲」。ここは、学生たちが様々な地域課題に向きあい、自分らしく挑戦する場となっています。人と人とのつながりの中で出会い、想いを同じくした6人で「ハッピースマイルプロジェクト」を立ち上げました。



しまねハッピースマイルプロジェクト

すぎはら なゆ
杉原 菜友さん

あらかき てんか
荒木 天花さん

不登校＝悪いこと?!

杉原さんは、大学に通いながら、ボランティアでフリースクールに関わりました。自身もこれまでに学校への行きづらさを感じた経験があり、フリースクールってどんな場所なんだろう? という興味があったそうです。「そこに通う子どもたちと出会い、自分の進む道は他にあるのかもしれないと思うようになりました」と子どもたちから刺激とエネルギーをもらい、地元出雲市へ。

その後、出雲市のフリースクールについて調べ始めて感じたのは県外とのギャップ。「私が見てきた県外のフリースクールは学校との連携が密でした。先生が子どもたちの様子を見に来たり、卒業式等に校長先生が来たり。学校の体育館をフリースクールに開放するところもありました。フリースクールに通うことで学校の出席として認められることも大きな違いでした」と驚いたそうです。

調べていく中で、フリースクールや通信制高校の情報発信が少ないと感じた杉原さん。また、聞きかけた情報の中から、不登校の状態から外に出られるようになる支援があまりない印象だったと話します。「不登校＝悪いことというマイナスイメージが強いと思いますが、実際の子どもたちは、とてもエネルギー

があるんです。自分がサポートしているというよりも、逆に元気をもらっています。学校に行きづらい子が明るく、楽しく生きてほしい！という気持ちが募り、自分たちにできることをしたいと思いました」と想いを語ります。

子どもたちが

納得できるための選択肢

荒木さんは、自身も学校に行きづらい時期があり、当時近くに同じような子が集まる場所も、情報もなかったそうです。「少し休んで心が回復したあと、何かやりたいな」という気持ちの芽を摘んでしまわない、みんなでそれをサポートできる社会になったらいいなって。自分がしんどい真っ只中にいる頃、親も病院もその先の情報がなく、行き詰まっていました。今も、不登校の子の親御さんと話すと、通信制高校一つとっても情報を集めるのが難しいことがよく分かります。情報も少ない、通えるところも少ない、その中から自分で決められないといけない：子どもたちが納得できる選択ができるようになにかしたいと思っています」と話します。その想いから、市内の不登校親の会に知りたい情報についてアンケートを取り、それをフィードバックできる企画を検討中だそうです。

子どもたちの

「やってみようかな」育む

子どもたちのためにメンバーでそれぞれの想いを話し合い、「地域の人にフリースクールのことや学校に行きづらい子どもたちのことを知ってもらおうこと

から始めよう！」と、昨年夏、ある企画が動き出しました。それが、『もうひとつの学校夏祭り』でした。

イベントでは、『もうひとつの学校』のことを知ってもらおう』をテーマとし、フリースクールに通う子どもたちも運営に携わりまし

た。ミニゲーム大会や作品展展示など様々なブースを作り、子どもたち自身ができることを伸ばしたり、外部の人と関わったりする場面を設定したそうです。

これを経て、「子どもたちのやってみようかな」という気持ちを引き出せたと感じています。子どもたちがボランティアの学生と一緒に片付けをしていて、外部の人との関わりができていくこともうれしかったです。安心できる大人と一緒に動いてみる、この一歩が大切だになって。そんな子どもたちの姿を見て保護者さんの受け止めにも変化があったと思えます。活動への問合せも増え、動き出すきっかけになれたと感じました」とうれしい反応があったそうです。今年も8月の開催に向けて奮闘中です。



今できることを

「自分の将来はまだはっきりとは決まっています。子どもたちを支援する活動は続けていきたいけれど、仕事としてやろうとするとなくなかグクシャクし

てしまうと思うので：自分の生活基盤があつて、それとは別に取り組んでいく方が自分には合っているかなと思います。これからも色々な方と会って、話をしてつながりづくりをしたいです。今、子どもたちのためにできることをしていく先に、自分なりの道を見つけていきたいです」と杉原さん。

荒木さんは、「不登校の子って、遊びやイベントにも行きづらさを感じたり、親に怒られることもあったり…。楽しい時間を過ごしたいじゃないんじや…という引け目を感じることもあるんです。なんとなく社会にもそんな風潮があると感じています。学校に行けなくても、そんなこともあるよね！」という空気が広がるといいなって。その子が、出てみようかな」という気持ちになった時の居場所の一つになれるように、まずは出雲でできることを続けていきたいです」と想いを語ります。

やわらかく、穏やかな雰囲気の中に、芯の強さを感じるふたり。子どもたちの未来のために踏み出したそれぞれの一歩が人と人をつなぎ、新たな連携が生まれ、出雲市で広がっています。



しまねハッピースマイル
プロジェクトInstagram

HAPPYSMILE_PJ

もうひとつの学校 夏祭り

- 日時：8月18日(日)
13:00~16:00
- 会場：ユース出雲





いま 知ってもらいたい 「社協会費」のこと

出雲市社会福祉協議会（社協）って？

わたしたち社協は、暮らしの困りごとの解決や、みなさんが安心して暮らせるよう地域の福祉活動に取り組む人たちを応援する団体です。公的な制度だけでは解決できない課題にも柔軟に対応しています。社協の行う活動は、地域のみなさんや福祉団体、企業や関係機関など多くの人たちと話し合い、協力してすすめています。

社協会費って？

会費は、社協の活動を行うための大切な財源となっています。地域のみなさんの「社協の活動を応援したい」という思いによりご協力いただいています。また、会費に協力してくださるみなさんを「会員」と呼んでいます。

社協会員の種類

一般会員
[1世帯]

年1,000円

団体会員
[1団体]

年10,000円

賛助会員
[1口]

1,000円

- 一般会員は町内会などでとりまとめをお願いしています。
- 社協会費への協力は任意のものです。
- 団体会員・賛助会員として社協を応援いただける方はご連絡ください。



社協の会費のつかいみちは？

会費は、社協が行う事業や地域で行われるさまざまな福祉活動のために使わせていただき、地域みなさんに還元しています。

生活にお困りの方を
「食」で応援



フードドライブ

災害で被災された方や
地域の支援



災害ボランティアセンターの
立ち上げ・運営



地域の支え合いの
取組を応援



ご近所さんの
集いの場



子ども食堂

「地域で活動したい！」
「福祉を学びたい！」
想いを応援



コミュニケーション講座

小学校での
車いす体験



高齢者のみなさんが住み慣れた地域で
安心して暮らすための支援
(高齢者あんしん支援センター)

認知症や知的・精神障がい等により判断能力に
不安がある方の日常的な金銭管理等の支援
(いずも権利擁護センター)

生活の立て直しや困りごとの解決に向けた支援
(生活支援課)

※社協の取組は本会ホームページ



や Facebook



で紹介しています。



地域のみなさんからの支えにより、暮らしの困りごとの解決や、みなさんが安心して暮らすための福祉活動を行うことができます。

今年度も引き続き、ご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。



手話奉仕員養成講座《入門編》

聴覚障がいについての知識と日常会話に必要な手話表現などの技術を学び、手話奉仕員として活動しませんか。

- **日時**: 令和6年9月7日(土)～令和7年3月22日(土)
毎週土曜日 10:00～12:00 (全24回)
- **会場**: 出雲市社会福祉センター
- **対象者**: ・市内在住で修了後に手話奉仕員として活動できる方
・原則として全講座に参加できる方
- **定員**: 20名 (先着順)
- **受講料**: 無料 (テキスト・クラウド代:6,050円程度が必要)
- **申込締切**: 8月21日(水) まで
- **備考**: ※入門編修了者を対象に基礎編を次年度に開催予定です。

問合せ・申込先

地域福祉課 ☎23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込みの際は、件名を「手話奉仕員養成講座」としてください。

たすけあい活動勉強会

困ったときはお互いさま。ちょっとした生活の困りごとを手助けする、たすけあい活動を始めるにあたっての基礎を学びます。

- **日時**: 令和6年7月17日(水) 13:30～16:00
- **場所**: 出雲市社会福祉センター 42号室
- **参加費**: 無料
- **定員**: 30名 (先着順)
- **内容**: たすけあい活動についてのお話、団体紹介など。
ホームページに掲載していますのでご確認ください。
- **申込方法**: 7月10日(水) までに ①氏名 ②電話番号 ③希望動機をご連絡ください。

問合せ・申込先

地域福祉課 ☎23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込の際は、件名を「たすけあい活動の勉強会」としてください。

令和6年度ボランティア講座

「聞き上手は話し上手、聞くから始めるコミュニケーション講座」参加者募集!

- **日時**: 令和6年7月26日(金) 14:00～16:00
- **講師**: オフィス びーぶらす 代表 岩成 洋子 氏
- **会場**: 出雲弥生の森博物館
- **参加費**: 無料
- **対象者**: ボランティア活動者、ボランティア活動に興味のある方等
- **定員**: 40名 (先着順)
- **申込方法**: 7月19日(金) までに ①氏名 ②電話番号 ③所属団体 (ボランティアグループ名) 等をご連絡ください。

問合せ・申込先

地域福祉課 ☎23-3781 FAX 20-7733
メール fukushi@izumoshakyo.jp
※メールでの問合せ・申込みの際は、件名を「コミュニケーション講座」としてください。

職員採用試験

令和7年4月1日採用予定の採用試験を行います。

- **職種**: 事務職員 (正規職員)
 - **人数**: 若干名
 - **募集資格**: 平成元年4月2日以降に生まれた方で社会福祉士・精神保健福祉士・保健師のいずれかの資格を有する方 (来春取得見込可)
 - **募集期間**: 令和6年7月17日(水) ※必着
 - **試験**: 一次試験: 令和6年8月4日(日) 10:00～
二次試験: 8月下旬
(一次試験の際にお知らせします)
- 会場: 出雲市社会福祉センター
詳しくは、本会ホームページの募集要項をご覧ください。

問合せ先

総務課 ☎23-3781 (担当: 石飛 赤木)

災害義援金・海外救援金のお知らせ

名 称	送金額 (5月31日現在)	受付期間
令和6年能登半島地震災害義援金 ※現在の配分先: 石川県、富山県、新潟県、福井県	これまでの送金額 4,687,768円	令和6年12月27日まで
バングラデシュ南部避難民救援金	これまでの送金額 11,000円	令和7年3月31日まで
ウクライナ人道危機救援金	これまでの送金額 2,530,043円	令和7年3月31日まで
アフガニスタン人道危機救援金	これまでの送金額 10,000円	令和7年3月31日まで
イスラエル・ガザ人道危機救援金	これまでの送金額 9,382円	令和6年9月30日まで
2024年台湾東部沖地震救援金	これまでの送金額 38,100円	令和6年6月28日まで

問合せ先/日本赤十字社島根県支部出雲市地区 (事務局 出雲市社会福祉協議会本所・各支所)



ご寄附 ありがとうございます

令和6年3月11日～令和6年5月10日受付分（敬称略）

*出雲市社会福祉協議会ではご寄附いただいた方のご意志を尊重し、氏名等を掲載しています。なお、金額は掲載しませんのでご了承ください。

一般寄付

<出雲>

大津町 金山 勝紀

<平田>

平田町 山根 秀

<団体>

連紹寺 寒修行団

養護(盲)老人ホーム かなび園
心灯会(朗読ボランティアの方への感謝として)

出雲市立斐川東中学校 生徒会
(空き缶回収の収益金の一部として)

極真会館佐藤道場島根県支部出雲道場

塩冶有原町 曾田 久夫(真美江)

古志町 江角 知香(春雄)

松寄下町 加藤 信二(百合子)

松寄下町 長崎 宏和(ミヨ子)

浜町 高橋 静一(浪子)

小山町 黒崎 宣夫(教恵)

姫原 片寄 学(良樹)

平野町 錦織 元(陽子)

高岡町 足立 英彦(松子)

稗原町 川上 昇(タケ子)

宇那手町 小豆澤 勉(久恵)

西神西町 野中 利治(玉子)

神西沖町 平井 毅(今岡 瀧代)

<平田>

平田町 長岡 千寿夫(昌夫)

平田町 新宮 英雄(三記江)

平田町 藤田 久美子(内部 陽子)

平田町 山藤 哲夫(洋子)

平田町 儀満 裕(ハナ子)

灘分町 永見 博司(三千代)

灘分町 小村 真咲美(幹雄)

灘分町 遠藤 豊治(邦子)

美談町 高橋 重徳(和子)

〇宇賀町 安住 公子(ミツエ)

本庄町 遠藤 もり子(一男)

万田町 川瀬 薫(スズエ)

万田町 安食 政幸(トモ子)

河下町 荒木 律子(昭二)

河下町 原 清(光子)

河下町 原 正行(敬治)

唐川町 荒木 直美(寛)

別所町 松浦 聡(類一)

東郷町 岩成 浩二(多久和 末子)

東福町 河原 恒美(正子)

東福町 久家 恒美(勝代)

東福町 佐藤 久美子(修)

野石谷町 岡 公雄(やすこ)

上岡田町 西尾 敬(民恵)

多久町 瀬崎 弘之(龍一)

多久町 松林 広之(文子)

園町 角 秀夫(洋子)

園町 橋本 健一(幸市)

小津町 福岡 武(アヤコ)

十六島町 山根 満(貞)

地合町 佐藤 広幸(定子)

<佐田>

大呂 佐藤 恵(宗夫)

反辺 八重見 静枝(友芳)

反辺 今岡 睦也(桂子)

東村 竹下 茂(朝代)

<多伎>

〇田儀 石飛 尚(之夫)

〇田儀 大谷 将泰(静代)

〇田儀 鳥屋尾 幸裕(昌裕)

小田 佐藤 成晃(實恵子)

<湖陵>

三部 小林 益子(和義)

二部 江角 和幸(文子)

差海 川上 富美子(育三)

<大社>

菱根 三成 留美(寛子)

北荒木 福島 満明(カネ子)

北荒木 多々納 美代子(昭夫)

杵築東 古川 淳(百三郎)

杵築南 石田 洋子(周藤 利子)

杵築南 瀬島 裕子(手銭 イサ子)

杵築南 高橋 伸和(節子)

杵築南 大國 和久(昭)

日御碕 杉原 大輔(寛信)

<斐川>

学頭 昌子 裕(洋)

荘原 須田 憲幸(幸夫)

荘原 小村 司(孝一)

三絡 伊藤 正範(トヨ子)

神氷 陰山 稔(英一)

上直江 山根 勝宏(幸雄)

上直江 高野 英二(孝子)

黒目 大杉 明美(次子)

黒目 高橋 日出男(美喜枝)

坂田 曾田 貴代子(秀市)

坂田 須田 正美(悟)

<市外>

松江市 河村 真理(杉原 貞子)

匿名

12件

ご寄贈

<大社>

杵築南 石田 洋子

皆さまからのご寄附は、市内で福祉活動を行う団体及び
各地区社会福祉協議会への助成などに使わせていただいております。

●出雲市社会福祉協議会に対する寄附は、住民税と所得税の控除対象になります。また、寄附者が法人の場合には、損金算入の制度が利用できます。

【例】出雲市にお住まいの方が本会へ50,000円の寄附をされた場合

※税額控除を選択した場合

〔1〕所得税 (50,000円-2,000円)×40%=19,200円

〔2〕住民税 (50,000円-2,000円)×10%=4,800円

〔1〕+〔2〕=24,000円……税額控除額となります。

※一例であり、個々のケースにより控除額は変わります。詳しくは税務署等へお問い合わせください。

●「地区の社会福祉協議会へ寄附をしたが、市の社協だよりに掲載されていない」とのお問い合わせにつきまして、本会と各地区の社会福祉協議会は地域福祉の推進におけるパートナーであり連携して事業を行っておりますが、別の団体であることから、各地区社会福祉協議会に対する寄附はこの紙面に掲載しておりません。ご了承ください。



お米のフードドライブ - 生活にお困りの方を「食」で応援！ -

物価高騰などの影響で生活にお困りの方へ、市民の皆さまから寄せられたお米などをお渡しします。

日にち	8月1日(木)	8月2日(金)	8月3日(土)
会場	本所・各支所		本所
時間	9:00~17:00 ※会場によって異なります。		9:00~12:00

■事前申込が必要です。■原則、会場での受け渡しのみです。
詳しくは本会ホームページをご覧ください。

お米などのご寄附にご協力ください！

募集期間 7月1日(月)~8月2日(金)
※土・日・祝日除く

受付時間 9:00~16:00

受付場所 本所・各支所

受付内容

- ・お米(玄米・精米どちらでもかまいません)
- ・食品: 常温保存で未開封、賞味期限の記載があり2カ月以上のもの
- ・日用品: トイレトペーパーなど

申込・問合せ先 フードドライブ担当 ☎23-3781



能登町災害ボランティアセンターへ職員派遣

3月に続き能登半島地震の被災地を支援するため、4月28日から5月4日まで本会から職員1名を派遣しました。現地では、能登町災害ボランティアセンターの業務支援に従事しました。



支援内容

- 災害ボランティアセンターの運営
- 被災された方のニーズ調査など



稗原いきいきクラブ

月1回開かれる、稗原地区の集いの場。この日は地区の懐かしい写真を囲んで思い出話に花が咲きました。みなさんの元気の源となっています。

レポート



？ってか
知ますか

コミュニティ
フリッジ出雲



特定非営利活動法人しまね子ども支援プロジェクト

子どもが貧困のスパイラルを抜け出すために

1日3回の食事が摂れない子どもが4割とも言われているひとり親家庭の子どもたちを支援するため、2024年11月に常設フードバンク「コミュニティフリッジ」を山陰で初めて開設しました。

みんなが実情を知り、
支えあう世の中になるために

コミュニティフリッジ出雲の運営は市民からの寄付や食料品等の寄附によって成り立っています。一人でも多くの市民の方々が「お互いさま」の気持ちで参画いただくことで、みんなで支えあえる社会の実現を目指しています。

誰が利用できるの？

↓出雲市を中心に島根県内に居住するひとり親世帯の方にご利用いただけます。原則、児童扶養手当受給世帯が対象ですが、状況によってそれ以外の方の登録も受け付けています。ご利用には事前にサイトからの登録が必要です。

食料品等の寄贈を検討されている方へ

↓食料品等の寄贈は、事前にサイトからフードプレザンターとして登録いただき、出雲市総合ボランティアセンターにお持ちください。

他にどんな支援ができるの？

↓毎月1,000円以上のご寄付をいただける「マンスリー会員」を中心にサイトからご寄付をいただくことができます。他に「お宝エイド」の仕組みを使った寄付もできます。

詳しくはホームページからご確認ください。



出雲市社会福祉協議会連絡先

(窓口対応) 平日8:30~17:15

☎23-3781 (代表) FAX20-7733 (代表)

✉ fukushi@izumoshakyo.jp

ホームページ <https://www.izumoshakyo.jp/>

総務課・地域福祉課 / ☎23-3781 FAX20-7733

生活支援課 / ☎23-3790 FAX20-7733

いづも権利擁護センター / ☎25-0955 FAX20-7733

平田支所 / ☎63-4624 FAX63-5011

佐田支所 / ☎84-0131 FAX84-9034

多伎支所 / ☎86-2331 FAX86-2351

湖陵支所 / ☎43-2310 FAX43-2226

大社支所 / ☎53-3196 FAX53-6053

斐川支所 / ☎73-9330 FAX72-4068



高齢者あんしん支援センター

出雲 / ☎25-0707 FAX25-0901
多伎 / ☎86-7122 FAX86-2351
斐川 / ☎73-9125 FAX72-4068

平田 / ☎63-8200 FAX63-5011
湖陵 / ☎43-7611 FAX43-2226

佐田 / ☎84-0019 FAX84-9034
大社 / ☎53-3232 FAX53-6053

